

放課後等デイサービス 事業所における自己評価の結果（公表） （令和6年8月）

事業所名 ソーシャルセンター夢んぼ

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準以上の広さを確保しています。	活動内容や人数によって変えています。	グループ分けを行い、ご利用者様が過ごしやすい環境を整えています。
	② 職員の配置数は適切であるか	基準の配置をしています。	活動内容も含めてシフトで管理しています。	必要な人員配置に設定しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	駐車場から玄関へのスロープ、階段に手すりを設置しています。	現在、対象の方はいません。	必要に応じてバリアフリー等の対応を検討していく。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	参画しています。	毎月、職員ミーティングを行いご利用者様の状況によって支援内容を相談、変更をしています。	毎月のミーティングや毎日の打ち合わせにおいてもPDCAサイクルができるように意識しています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	アンケートを実施し、業務改善につなげています。	アンケートの内容は開示し、情報共有しています。	保護者の方からの声をもとに、改善すべきものは迅速に対応していきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公開しています。	メッセージ配信で保護者の方に、ホームページ掲載の案内をしています。	職員間でも共有し、業務改善に努めています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は実施していません。	法人の役員会で実施しています。事業所間および事業所のミーティングで評価し改善に努めています。	事業所個人の判断ではなく、夢んぼ全体で判断する内容や、客観的な視点は必要と考えています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	研修の機会を確保しています。	研修参加のために勤務調整をしています。また、スキルアップを目指し、資格取得のための講座を受講することを奨励しています。	職員研修の内容は全職員で回覧し、情報を共有し、スキルアップしていきます。毎月の職員ミーティングの中で議題を出し、研修として取り組んでいます。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	作成しています。	職員間で情報を確認、支援計画の会議を実施しています。	保護者の方との面談や本人の様子・状況を見ながらアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準のアセスメントツールを参考にしています。	事業所に合ったアセスメントツールの実施をしています。	必要に応じてアセスメントツール内容の改善に取り組んでいます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	行っています。	プログラムミーティングを行い、どのスタッフも意見が出せるようにしています。	プログラムミーティング以外でも、毎日の打ち合わせで新しいアイデアや取り組み子どもたちの様子などは共有できるようにしています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	工夫しています。	子どもたちの状況を見て変更しています。	子ども達への聞き取りや、利用状況を見ながら、人気のあるものは継続、逆に利用が減少しているものは改善しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日、長期休暇の課題を決めて行っています。	平日は基礎、長期休みは応用ができるように目的を持って実施しています。	休日や長期休暇の長い時間を使って取り組める内容をプログラムに取り入れるようにしています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	作成しています。	個別、集団、地域を意識してプログラムを作成しています。	個人のスキルを高める内容、集団を意識する内容、将来に目を向ける視点は常に持つようになっています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	確認しています。	毎日打ち合わせをしています。	利用人数、内容、注意する点など細かな部分の確認をしています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	共有しています。	支援記録をとり、情報共有、毎日の打ち合わせで特記事項を伝えています。	気づいた点は、支援記録に残し、次の日に対応する内容に関しては、その場で話して支援内容を決めています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	つなげています。	その日の情報を伝え、次の日には改善できるようにしています。	支援記録をとり、同じ内容の活動は、前回の記録からの課題を見直し実践しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	判断しています。	定期的にモニタリング、支援会議を行い、支援内容の見直しをしています。	支援会議では、職員一人一人の意見取り入れたモニタリングを行い、個別支援計画の内容に関しても会議を行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	行っています。	ガイドラインを活用し、職員間で改善点を共有し実行しています。	ガイドラインの内容を、職員が確認し意識して取り組むようにしています。

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参画しています。	学校への働きかけ、相談員に相談、保護者の方との面談を踏まえ、サービス担当者会議にて子どもの情報を共有し支援の協力体制を作っています。	児童発達支援管理責任者が参加しています。今後は、直接携わる職員の参加の機会も作っていきます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	行っています。	学校や保護者の方から教えていただき、送迎や活動を調整しています。トラブルがあれば、すぐに対応できるようにしています。	保護者の方より学校の年間行事予定表をご提出いただき、各校の行事予定を把握できるようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在必要な利用者様はいません。	現在必要な利用者様はいません。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	努めています。	フェイスシートなどで、成育歴や病院、主治医を確認しています。サポートブックなどの情報、検査などの評価についても家族の方に確認しています。	保護者の方や相談員からの情報を整理し、今後の支援の方向性を決めていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	提供しています。	個別支援計画、モニタリング、アセスメントの情報を提供しています。	今までで取り組んできた内容を整理し、今後課題になっていく事も伝えられるようにしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	研修を受けています。	研修に参加できるようシフトの調整をしています。	専門機関と連携をしながら研修の機会を増やしていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在はありません。	児童クラブはありませんが、公共の施設を利用し社会性を育てています。	公共の場への外出機会を増やし、様々な人と交流できるようにしていきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	参加しています。	地域の状況を把握、事業所の取り組みについても伝えていきます。	参加できるようにシフトの調整をします。責任者が必要に応じて参加していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	共有しています。	毎日の活動の様子をお伝えする連絡ノートや、定期的な面談、送迎時に保護者の方と話をしています。	定期的に保護者の方との面談を行い、直接お話しさせていただく事や電話での相談にも対応しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレント・トレーニングは実施していません。	必要な助言や、本人の目標に合わせて、必要な力を説明したうえで、保護者の方と本人の関係について助言を行っています。	トレーニングとしては行っていませんが、子どもたちの今の状況と将来的な課題をお話しさせていただきながら保護者の方と協力し支援していきます。面談時などなどに必要に応じて助言等をしていきます。
保護者への説明責	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	説明しています。	契約時や、更新、質問等に対して説明をしています。	分からない事があれば、連絡を頂けるようにしています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	行っています。	面談以外にも電話での相談、送迎の際など保護者の方とお話する時間を作っています。	その場で改善できない事もあるので、時間をかけて保護者の方との関係づくりもしていきます。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会の開催はしていません。	現在は父母の会などないため、進路相談や作品展、写真展など保護者の方が参加できるイベントを企画しています。	必要に応じて父母会を設定していきます。
	㉝	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	対応しています。	迅速に対応しています。	今後も迅速に対応していきます。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	発信しています。	メッセージ配信による連絡体制やプログラムによる活動のお知らせをしています。また、インスタグラム等で情報の発信をしています。	今後も、インスタグラムの投稿を積極的に取り組みます。
	㉟	個人情報の取り扱いに十分注意している	十分に注意しています。	個人情報など重要書類は鍵付き書庫で保管しています。書類以外のレジメなど使用後はシュレッダーで処分しています。	個人情報の取扱規程を確認し、職員全員で周知していきます。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	配慮しています。	口頭でのやり取りだけでなく、書面での説明や質問にも対応しています。	職員で情報を共有し、対応しています。必要に応じて、担当窓口の一つにして対応しています。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	行っています。	地域イベントに参加をしています。	今後も継続していきながら地域との交流の機会も作っていく。
非常時の	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	実施しています。	ミーティングにおいて、マニュアルの読み合わせを実施しています。	毎月職員間でマニュアルを確認し、契約時・面談時に保護者の方に周知できるようにします。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	行っています。	定期的に、地震や火災、水害を想定した避難訓練を実施しています。	避難訓練を行い、課題に上がったものは、迅速に改善していきます。

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
対応	㉑ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	行っています。	毎月自身で虐待防止チェックリストに記入をして常に意識を持つようになっています。	研修などでも虐待について触れていながら、日頃の対応や言動などについて考える機会を作っています。
非常時の対応	㉒ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	記載しています。	保護者の方との面談で、身体拘束の必要がある場合の記載内容を確認し同意とサインをいただいています。 身体拘束を行う場合は、状況の記録を残すようになっています。	全職員が、内容を理解し対応しています。
	㉓ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	行っています。	アレルギーの対応表を作り、必要に応じて対応しています。	アレルギー表は、いつも目に入る場所に掲示し、全職員が把握できるようにしています。
	㉔ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	共有しています。	活動中に発生したヒヤリハットの事例について報告書をもとに職員ミーティングで共有できるようになっています。	些細なことでも事例報告をすることで、職員間の共通認識を持てるようになりました。同じことが起きないよう、また、早い段階でリスクを最小限に留められるように活用していきます。